

令和7年12月19日

柳川市議会議長 荒 木 憲 様

議会運営委員長 橋本 憲之

## 議会運営委員会行政視察報告書

### 1. 視察概要

項目	内 容
視察期間	令和 7 年 11 月 4 日(火) ～ 11 月 6 日(木)
参加議員	橋本憲之(委員長)、江口義明(副委員長)、荒巻英樹、高田千壽輝 今村智子 オブザーバー:荒木 憲(議長)、菊次太丸(副議長)
視察目的	議会改革の先進地である東北 3 市を訪問し、議会からの政策提言 機能の強化、通年議会の運用、市民参加、ハラスメント条例制定等 の先進事例を調査・研究し、本市議会の活性化に資する。

### 2. 視察行程および調査事項

月日	訪問先(県名)	調査テーマ
11/4(火)	北上市議会(岩手県)	1. 議会からの政策提言について 2. 通年議会の取り組み等について
11/5(水)	一関市議会(岩手県)	1. 議会からの政策提言について 2. 市民と議員の懇談会について
11/5(水)	登米市議会(宮城県)	1. 市議会ハラスメント条例の制定 について 2. 通年議会について 3. 行政事務事業評価に基づく政策 について 4. 政策アドバイザーの活用について

### 3. 視察内容詳細

#### ① 岩手県 北上市議会

##### 【調査項目】

##### 1. 議会からの政策提言

- ・内容: 議会モニター(R5 年度まで)や関係団体からの意見を基に、常任委員会がテーマを決め調査・研究を行い、総合計画の策定時や予算編成時の政策提言へとつなげるフローが確立されている。

- ・特徴: 実質的な委員会活動を重視している点に特徴がある。政策提言を行う機関としての提言の重みを高めている運用実態について調査した。

##### 2. 通年議会の取り組み

- ・内容: 常任委員会の閉会中審査の弾力的な運用を目的に通年会期制を導入している。
- ・特徴: 議長の判断で会議を開ける体制により、専決処分を極力減らし、常任委員会の活動も活発化しチェック機関から政策提言を行う機関へ。

##### 【所感】

個人のスキルに依存せず、組織として市民の声を実現する「仕組み」が定着している点が印象的であった。柳川市においても、委員会を起点とした提言フローの整備が急務であると感じた。

#### ■北上市議会行政視察の様子



## ② 岩手県 一関市議会

### 【調査項目】

#### 1. 議会からの政策提言

- ・内容: 市民との懇談会等で出た意見をデータベース化し、常任委員会が政策提言し議員間討議の後、決議案として上程し市長へと手交することで地域課題を的確に捉えた提言が行われている。

#### 2. 市民と議員の懇談会(語らいの広場等)

- ・内容: 従来の報告会形式を見直し、ワークショップ形式や、女性・若者・農業者などテーマ・対象別の懇談会を実施している。
- ・特徴: 「聴く」ことに徹する姿勢と、出された意見を分類・整理し、議会活動へフィードバックする循環が整っている。ワールドカフェ方式による広聴活動の実施など市民が話しやすい雰囲気づくりについて具体的に学んだ。

### 【所感】

市民との対話を行事化せず、実質的な広聴活動として機能させるための工夫が随所に見られた。特にターゲットを絞った懇談会は、本市でも取り入れやすい手法であるので検討したい。

### ■一関市議会行政視察の様子



### ③ 宮城県 登米市議会

#### 【調査項目】

##### 1. 市議会ハラスメント条例の制定

内容: 議員によるハラスメントを防止するため、議員間だけでなく職員に対する行為も対象とした条例を今年 3 月に制定している。

特徴: 相談窓口の設置や倫理審査会との連携など、実効性を担保する仕組みと、制定に至るまでの全議員での研修・議論のプロセスについて聴取した。

##### 2. 通年議会・行政事務事業評価に基づく政策提言

内容: 通年議会のもと、決算審査等で議員自らが「行政事務事業評価」を行い、その結果を次年度の予算編成や政策提言に直結させる独自の仕組みを持つ。

##### 3. 政策アドバイザーの活用

内容: 議会改革課題に対し専門的見地からの助言を得るため「政策アドバイザー」を活用し、提言の質を高める取り組みを行っている。

#### 【所感】

事務事業評価を議会独自に行い、それを根拠に政策提言を行う手法は、議会の提言機能を最大化する非常に有効な手段である。また、ハラスメント条例の制定や専門家の活用など、議会の信頼性と専門性を高めるための先進的な取り組みに大いに刺激を受けた。

#### ■登米市議会行政視察の様子



#### 4. 総括

今回の３市視察を通じ、共通していたのは議会活動の軸足を『本会議』から『委員会』へ、そして『市民の中』へと移す点でした。柳川市議会として、通年議会への転換を行い、議会報告会の形式を見直し、常任委員会活動の活性化による政策提言の提案が行えるようになればと考える。また議会改革全般の課題解決のための政策アドバイザー(専門的知見の補足)の採用による議会改革推進を行いたい。